

令和4年度  
(2022)

上川北部消防事務組合  
一般会計歳入歳出決算審査意見書

上川北部消防事務組合監査委員

上北消監第 4 号

令和 5 年 11 月 22 日

上川北部消防事務組合

管理者 加藤 剛 士 様

上川北部消防事務組合

監査委員 岡 川 進

監査委員 高 野 美枝子

令和 4 年度上川北部消防事務組合一般会計歳入歳出決算審査意見について

地方自治法第 292 条の規定により準用する同法第 233 条第 2 項の規定に基づき審査に付された、令和 4 年度上川北部消防事務組合一般会計歳入歳出決算について審査しましたので、次のとおり意見を提出します。

## 目 次

1	審査の対象	1
2	審査の期間	1
3	審査の方法及び範囲	1
4	審査の結果	1
	(1) 決算諸表について	1
	(2) 決算の概要	1
	ア 歳入	2
	イ 歳出	3
	ウ 実質収支に関する調書	5
	エ 財産に関する調書	5
5	むすび	5
資 料 (提出された資料に基づき作成)		
	資料1 令和4年度市町村分担金内訳	6

(注) 文中及び各表中の比率等の用法は、次のとおりである。

- (1) 「△」：負の値を示し、増減では減を表している。
- (2) 比率(%)：算出については、小数点第2位を四捨五入している。
- (3) 「0.0」：「当該数値はあるが、0.05未満のもの」を表している。
- (4) 「-」：「当該数値なし、算出不能または無意味なもの」を表している。
- (5) 上記のように処理した結果、文中及び各表中の数値とその内容の累計値とは一致しない場合がある。
- (6) 執行率：予算現額に対する決算額の割合（決算額を予算現額で除した百分率）
- (7) 対前年度増減：令和4年度数値から令和3年度数値を差し引いた値。
- (8) 増減率：上記(7)の値を令和3年度数値で除した百分率。

## 1 審査の対象

- (1) 上川北部消防事務組合一般会計歳入歳出決算書
- (2) 決算付属書類(歳入歳出決算書事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書、証書類)

## 2 審査の期間

令和5年7月26日から同年11月15日まで

## 3 審査の方法及び範囲

上川北部消防事務組合の令和4年度一般会計歳入歳出決算書及び決算付属書類が、地方自治法等の関係法令に準拠して作成されているか、計数は正確か、さらに事務執行状況、予算執行状況及び収支は適正かなどに主眼を置き、提出された関係諸帳簿及び証拠書類等必要な資料に基づいて審査した。

## 4 審査の結果

### (1) 決算諸表について

令和4年度一般会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、これらに表示されている計数は現金出納簿及び関係諸帳簿と符合しており、正確であると認めた。

### (2) 決算の概要

令和4年度一般会計の決算額は、歳入総額12億9,543万383円、歳出総額12億7,707万9,128円となり、形式収支(歳入歳出差引額)は1,835万1,255円となった。

決算の状況、決算の収支は表1及び表2のとおりである。また、本部及び各署の決算状況は表3のとおりである。

表1 決算の状況 (単位:円・%)

区 分	予 算 額			決 算 額	執行率
	当初予算額	補正予算額	予算現額		
歳 入	1,415,165,000	△ 21,736,000	1,393,429,000	1,295,430,383	93.0
歳 出	1,415,165,000	△ 21,736,000	1,393,429,000	1,277,079,128	91.7

表2 決算の収支 (単位:円・%)

区 分	年 度	4 年 度	3 年 度	対前年度比較	
				増減額	増減率
歳 入 決 算 額 A		1,295,430,383	1,205,946,795	89,483,588	7.4
歳 出 決 算 額 B		1,277,079,128	1,185,549,845	91,529,283	7.7
形式収支(歳入歳出差引額) C A - B		18,351,255	20,396,950	△ 2,045,695	△ 10.0
翌年度へ繰越すべき財源 D		0	0	—	—
実 質 収 支 E C - D		18,351,255	20,396,950	△ 2,045,695	△ 10.0
単 年 度 収 支 E - 前年度E		△ 2,045,695	△ 326,589	△ 1,719,106	△ 526.4

表 3

## 本部及び各署の決算状況

(単位：円・%)

区分	項目	歳入・歳出予算現額 A	決算額		収支差引額 B-C	収入 執行率 B/A	支出 執行率 C/A
			収入済額 B	支出済額 C			
本部に要する経費等(ア)		131,470,000	131,469,760	129,202,210	2,267,550	100.0	98.3
各消防費(イ)		1,261,959,000	1,163,960,623	1,147,876,918	16,083,705	92.2	91.0
内 訳	名寄消防署	581,412,000	581,541,327	577,182,281	4,359,046	100.0	99.3
	下川消防署	183,780,000	183,815,424	181,525,013	2,290,411	100.0	98.8
	美深消防署	185,800,000	185,814,370	181,586,487	4,227,883	100.0	97.7
	中川消防支署	224,071,000	125,936,526	122,895,537	3,040,989	56.2	54.8
	音威子府消防支署	86,896,000	86,852,976	84,687,600	2,165,376	100.0	97.5
合計(ア)+(イ)		1,393,429,000	1,295,430,383	1,277,079,128	18,351,255	93.0	91.7

※中川消防支署の中川消防費には、翌年度繰越額98,156,000円があるため、執行率が低くなっている。

## ア 歳入

歳入の款別決算状況は、表4のとおりである。

款別の調定額は全て収入済額と一致しており、不納欠損額及び収入未済額は0円であった。

表 4

(単位：円・%)

款別	予算現額	収入済額	執行率	前年度決算額	対前年度 増減率
1 分担金及び負担金	1,328,877,000	1,248,133,000	93.9	1,173,146,000	6.4
2 使用料及び手数料	672,000	671,150	99.9	694,700	△ 3.4
3 国庫支出金	30,757,000	13,375,000	43.5	0	皆増
4 財産収入	2,922,000	2,868,160	98.2	1,351,110	112.3
5 繰越金	20,391,000	20,396,950	100.0	20,723,539	△ 1.6
6 諸収入	9,810,000	9,986,123	101.8	10,031,446	△ 0.5
計	1,393,429,000	1,295,430,383	93.0	1,205,946,795	7.4

## (ア) 1 款 分担金及び負担金

予算現額13億2,887万7千円に対し、収入済額は12億4,813万3千円であり前年度比6.4%増であった。内訳は本部に要する経費8,095万円、本部が一括支払う経費3,782万5千円、各消防費で支払う経費11億2,935万8千円である。

なお、各消防署・支署ごとの収入内訳は、資料1(6ページ)のとおりである。

## (イ) 2 款 使用料及び手数料

予算現額67万2千円に対し、収入済額は67万1,150円で、危険物に関する申請及びり災証明などの手数料である。

(ウ) 3款 国庫支出金

国庫支出金の国庫補助金は、1,375万5千円であり、消防本部の消防団員活動服購入事業及び名寄消防署の高規格救急自動車更新事業にかかる補助金である。なお、令和4年度中に購入できなかった消防車両にかかる補助金は4年度中に交付されず執行率が低くなっている。

(エ) 4款 財産収入

予算現額292万2千円に対し、収入済額は、前年度比112.3%増の286万8,160円で、財産貸付収入の待機宿舍使用料(美深消防署、中川消防支署、音威子府消防支署)及び財産売払収入である。

(オ) 5款 繰越金

前年度繰越金は、前年度比1.6%減の2,039万6,950円であり、内訳は本部259万2,376円、名寄消防署669万1,303円、下川消防署289万9,515円、美深消防署410万3,253円、中川消防支署233万9,927円、音威子府消防支署177万576円である。

(カ) 6款 諸収入

収入済額998万6,123円の主なものは、消防本部の雑入で、北海道消防学校への派遣職員給与負担金853万5,562円である。

イ 歳出

歳出の款別決算状況は、表5のとおりである。

表5

(単位：円・%)

款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	前年度決算額	対前年度増減率
1 議会費	759,000	677,080	0	81,920	89.2	661,363	2.4
2 総務費	129,711,000	128,525,130	0	1,185,870	99.1	131,267,271	△ 2.1
3 消防費	1,261,959,000	1,147,876,918	98,156,000	15,926,082	91.0	1,053,621,211	8.9
4 予備費	1,000,000	0	0	1,000,000	—	0	—
計	1,393,429,000	1,277,079,128	98,156,000	18,193,872	91.7	1,185,549,845	7.7

(ア) 1款 議会費

支出済額67万7,080円の主なものは、議員報酬である。

(イ) 2款 総務費

支出済額は、前年度比2.1%減の1億2,852万5,130円であり、主なものは、総務管理費の給料、職員手当等、共済費、委託料、負担金補助及び交付金などである。

(ウ) 3款 消防費

支出済額は、前年度比8.9%増の11億4,787万6,918円であり、各消防署・支署の執行状況は、表6のとおりである。消防費の翌年度繰越額は、中川消防費で予算措置された消防車両が令和4年度中の納車が不可能となったことにより、令和5年度に予算が繰越されたものである。また、主要事業の内訳は表7のとおりである。

表6

## 各消防署・支署別執行状況

(単位：円・%)

項 別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	前年度決算額	対前年度増減率
1 名 寄 消 防 費	581,412,000	577,182,281	0	4,229,719	99.3	525,424,912	9.9
2 下 川 消 防 費	183,780,000	181,525,013	0	2,254,987	98.8	150,180,078	20.9
3 美 深 消 防 費	185,800,000	181,586,487	0	4,213,513	97.7	172,841,409	5.1
4 中 川 消 防 費	224,071,000	122,895,537	98,156,000	3,019,463	54.8	116,743,060	5.3
5 音 威 子 府 消 防 費	86,896,000	84,687,600	0	2,208,400	97.5	88,431,752	△ 4.2
計	1,261,959,000	1,147,876,918	98,156,000	15,926,082	91.0	1,053,621,211	8.9

表7

## 令和4年度主要事業

署 名	事 業 名	補・単	数量	事 業 費(円)
本 部	消防団員活動服購入事業	補	96	2,302,080
	職員用防火衣(一式)更新事業	単	6	2,098,800
	小 計			4,400,880
名 寄 消 防 署	消防庁舎1階屋上防水工事	単	1	10,835,000
	消火栓更新事業	単	6	3,443,000
	高度救急処置訓練人形更新事業	単	1	2,266,000
	連絡車更新事業	単	1	1,338,000
	消防団用小型動力ポンプ整備事業	単	1	1,958,000
	高規格救急自動車更新事業	補	1	36,902,800
	小 計			56,742,800
下 川 消 防 署	消防団第2分団詰所前修繕事業	単	1	1,155,000
	上名寄鉄塔(火の見櫓)撤去工事	単	1	1,793,000
	消防ポンプ自動車更新事業	単	1	32,747,000
	消火栓更新事業	単	2	2,068,000
	高度救急処置訓練人形購入事業	単	1	2,237,400
	消防庁舎トイレ改修工事	単	1	3,718,000
	小 計			43,718,400
美 深 消 防 署	消火栓更新事業	単	2	1,477,674
	消防団員防火衣更新事業	単	33	4,294,290
	自動体外式除細動器更新事業	単	1	4,815,800
	小型動力ポンプ付水槽車小型動力ポンプ載替修繕事業	単	1	2,706,000
	緊急通報システムセンター機更新事業	単	1	3,336,300
	小 計			16,630,064
中 川 消 防 支 署	4区職員住宅改修工事	単	1	2,552,000
	小 計			2,552,000
音 威 子 府 消 防 支 署	心臓マッサージシステム購入事業	単	1	2,847,900
	小 計			2,847,900
合 計				126,892,044

(注)この表は、事業費が100万円以上の事業について記載している。

## (エ) 4款 予備費

予備費の充用はない。

ウ 実質収支に関する調書

本調書と決算書を照合した結果、計数は正確であることを認めた。

エ 財産に関する調書

公有財産及び物品について、令和4年度中の増減及び年度末現在高を確認した。

(ア) 公有財産

公有財産は、全て行政財産であり消防施設（建物）である。

建物の当該年度末における延面積現在高は、合計6,892.62㎡であった。

表8 公有財産の年度末現在高 (単位：㎡)

区 分		3年度末現在高	決算年度中増減高	4年度末現在高
行政 財産 (消防 施設)	木 造 (延面積)	743.70	0.00	743.70
	非木造 (延面積)	6,148.92	0.00	6,148.92
	合 計	6,892.62	0.00	6,892.62

(イ) 物 品

自動車の当該年度末台数は、66台であった。

その他の重要な物品(50万円以上)の当該年度末現在高は230台(式)となった。

表9 物品等の年度末残高

区 分		3年度末現在高	決算年度中増減高	4年度末現在高
物	自 動 車(台)	66	0	66
	その他(台・式)	217	13	230
品	合 計	283	13	296

5 むすび

令和4年度の上川北部消防事務組合一般会計の決算について、歳入総額は前年度比7.4%増の12億9,543万383円となり、歳出総額は前年度比7.7%増の12億7,707万9,128円となった。歳入では分担金及び負担金で前年度比7,498万7千円(6.4%)増加し、歳出では消防費で前年度比9,425万5,707円(8.9%)増加した。

令和4年度も長引く新型コロナウイルス感染症の影響による制約があったものの、施設や設備の整備・更新、教育や訓練・演習がなされ、消防力の確保・充実に努められていた。一方、決算にかかる事務処理においての課題も見受けられたことから、円滑かつ適正な決算書類の作成に向け、財務会計システムの導入などの対策を検討されたい。

今後は、消防行政を取り巻く環境も変化するなか、住民の安心・安全確保のため、組織力と機動力を生かせるよう効率的な予算執行のもと、設備や資機材の整備・更新に加え、専門的技術の習得や体制の充実強化が図られることを期待する。



# 資 料

資料 1

令和4年度 市町村分担金内訳

(単位：千円・%)

区分 市町村	本部に要する経費(イ)				各署に要する経費(ロ)				各署に要する経費(ハ)				合計 (イ)+(ロ)+(ハ)			対前年度 増減率
	議員数割及び 分担率による経費			対前年度 増減率	本部が一括支払う経費			対前年度 増減率	各消防費で支払う経費			対前年度 増減率	4年度	構成比	3年度	
	4年度	構成比	3年度		4年度	構成比	3年度		4年度	構成比	3年度					
名寄市	53,502	66.1	52,884	1.2	19,503	51.6	20,948	△ 6.9	559,401	49.5	524,753	6.6	632,406	50.7	598,585	5.7
下川町	8,751	10.8	8,797	△ 0.5	4,730	12.5	5,812	△ 18.6	180,879	16.0	149,201	21.2	194,360	15.6	163,810	18.6
美深町	10,956	13.5	10,609	3.3	6,301	16.7	6,565	△ 4.0	181,478	16.1	173,385	4.7	198,735	15.9	190,559	4.3
中川町	5,294	6.5	5,396	△ 1.9	3,312	8.8	4,869	△ 32.0	123,365	10.9	116,523	5.9	131,971	10.6	126,788	4.1
音威子府村	2,447	3.0	2,574	△ 4.9	3,979	10.5	3,635	9.5	84,235	7.5	87,195	△ 3.4	90,661	7.3	93,404	△ 2.9
計	80,950	100.0	80,260	0.9	37,825	100.0	41,829	△ 9.6	1,129,358	100.0	1,051,057	7.4	1,248,133	100.0	1,173,146	6.4

(注) 構成比率の算出については、小数点第2位を四捨五入しているため累計値と一致しない場合がある。